

2023 年 10 月 5 日

通貨ニュース

新興国：製造業の採用意欲に陰り

S&P Global 社が集計するグローバル購買担当者指数(PMI)によれば、9 月製造業 PMI は 49.1 と 8 月(49.0)からは上昇も、13 か月連続で中立水準(=50)を割り込んでおり、製造業の景況感は明確に下向きだ。先進国(46.8→47.4)は生産や新規受注を中心に上昇も、12 か月連続で中立水準割れを記録した。片や、新興国(51.4→50.9)は雇用を中心に低下も、8 か月連続で中立水準超えを維持した(図表 1、2)。また、グローバル非製造業 PMI(51.1→50.8)は 4 か月連続で低下。内訳を確認すると、先進国は 50.2 で横ばい、新興国(53.1→51.9)は 5 か月連続で低下した。

これらを合わせたコンポジット PMI は 50.5 と前月(50.6)から 4 か月連続で低下も、8 か月連続で中立水準超えを維持。世界経済の実質 GDP 成長率は 4～6 月期はプラス成長を維持も、前四半期からは勢いを落とした(図表 3)。PMI の推移を確認する限り、足許かけては引き続き減速基調にあるものと考えたい。

9 月グローバル製造業 PMI の特徴は、新興国における雇用指数の低下だろう(図表 4)。新興国の雇用指数は、9 月に 49.3 と 2 か月ぶりに中立水準割れに転落した。3 月以降は右肩上がりでの推移を続けてきたが、9 月に大きく反転した格好である。パンデミック後の極度な人手不足と採用難に対する反省から、製造業需要が下向き中でも企業の採用意欲は一定を保ってきたが、需要停滞が長期化する中で企業の姿勢にも変化が生まれてきた可能性があるだろう。

製造業 PMI の構成指数別には、雇用指数以外の 4 指数が PMI の上昇に寄与した。生産指数は、先進国の上昇がけん引し、小幅に全体を押し上げた(図表 5)。新規受注も同様に先進国主導で改善が見られた(図表 6)。ただし、15 か月連続の中立水準割れは継続しており、短期の先行きは依然弱い状態が続いている。また、購買品在庫は先進国の上昇が寄与した(図表 7)。とはいえ、12 か月連続で中立水準割れを記録しており、在庫取り崩しの流れは止まっていない。最後に、入荷遅延指数(逆インデックス)は、先進国・新興国いずれも低下した(図表 8)。パンデミック後の供給政策改善には、明白に一服感があるだろう。ただ、製造業需要が弱いことを加味すれば、入荷遅延指数の大幅な低下には至らないものと考えたい。

個別の新興国では、台湾製造業 PMI の底入れに着目したい(図表 12)。9 月には 46.4 と 8 月(44.3)から上昇し、4 月以来の水準に戻した。もちろん、17 か月連続で中立水準割れを記録しており、決して良好な結果とはいえないが、ここ数か月の動きからは底打ち感も見えて取れる。特に、新規輸出受注指数は 41.9 から 46.0 にまとまった幅で改善しており、同国が強みを持つ半導体市場も、グローバルに需要の再拡大が期待される状況だ。本格的な回復には程遠いだろうが、4～6 月期には世界の半導体売上高も前期比でプラスに復帰しており、今後はこうした流れが加速するかに注目が集まる。

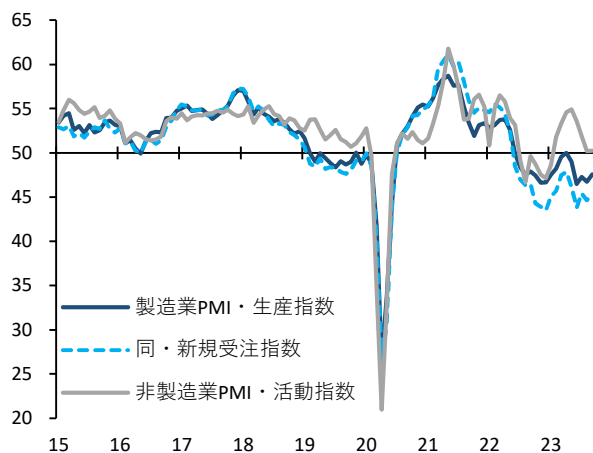
金融市場部

長谷川 久悟

03-3242-7065

kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

図表 1: 先進国



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 2: 新興国



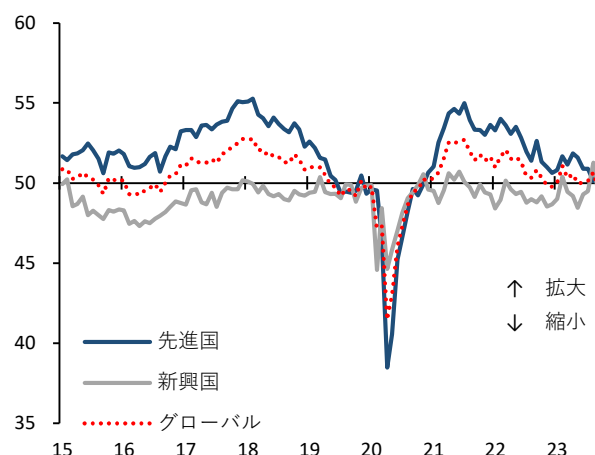
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 3: グローバルのコンポジット PMI と GDP 成長率



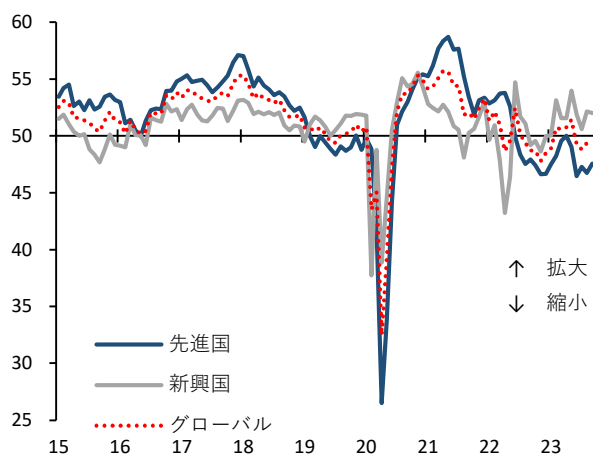
出所: S&P Global、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 製造業 PMI・雇用指数



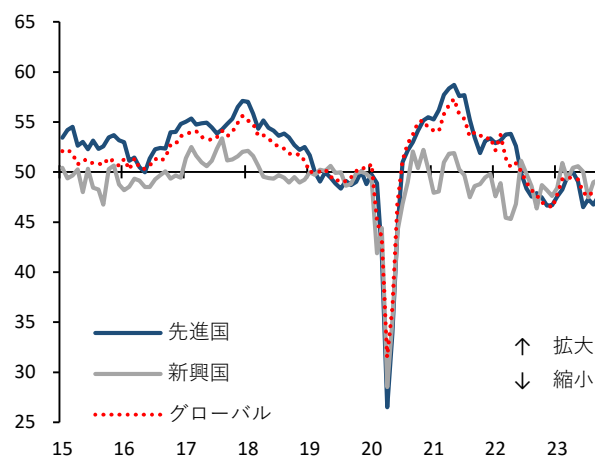
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 5: 製造業 PMI・生産指数

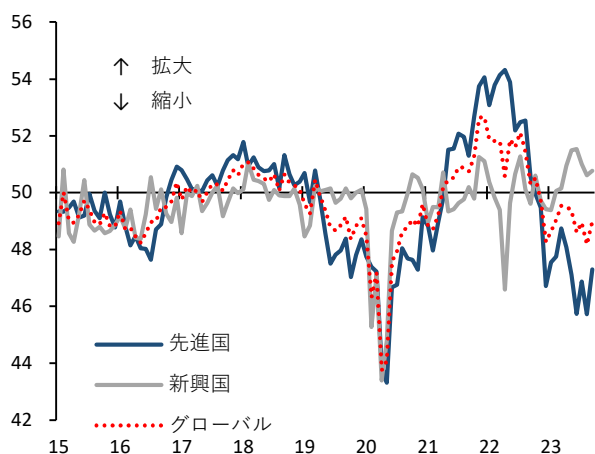


出所: S&P Global、みずほ銀行

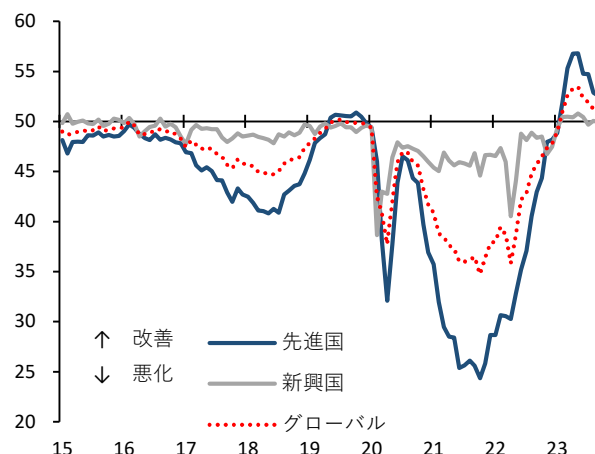
図表 6: 製造業 PMI・新規受注指数



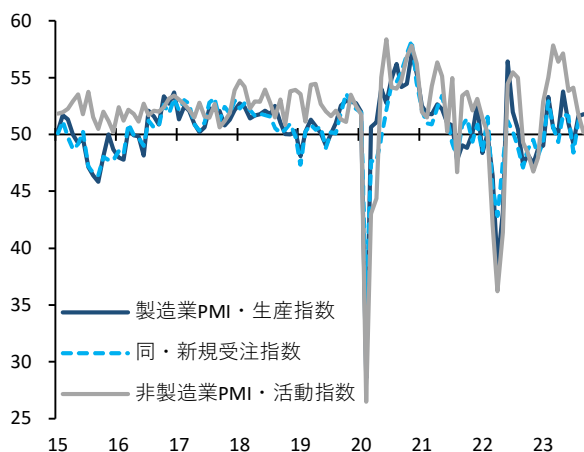
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 7: 製造業 PMI・購買品在庫指数


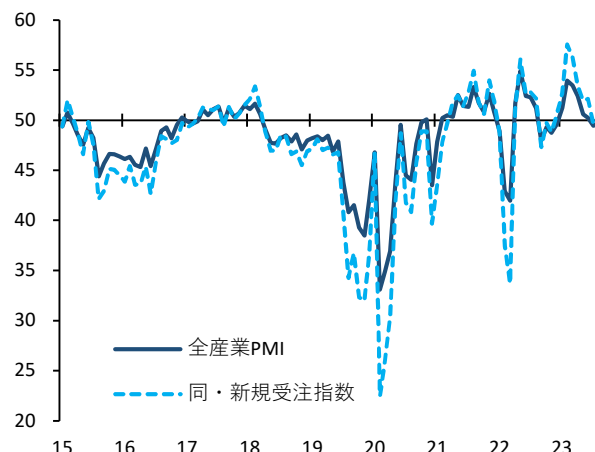
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 8: 製造業 PMI・入荷遅延指数


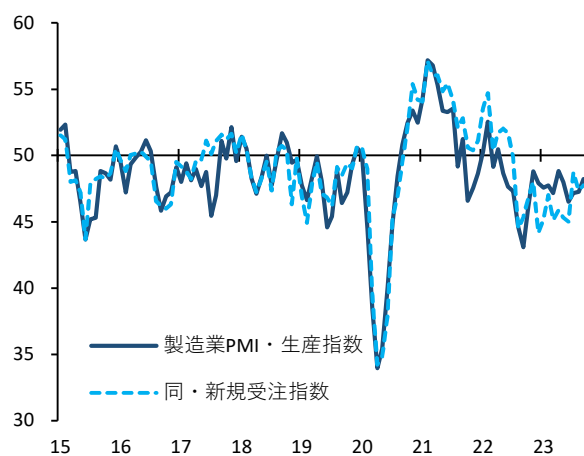
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 9: 中国


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 10: 香港


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 11: 韓国


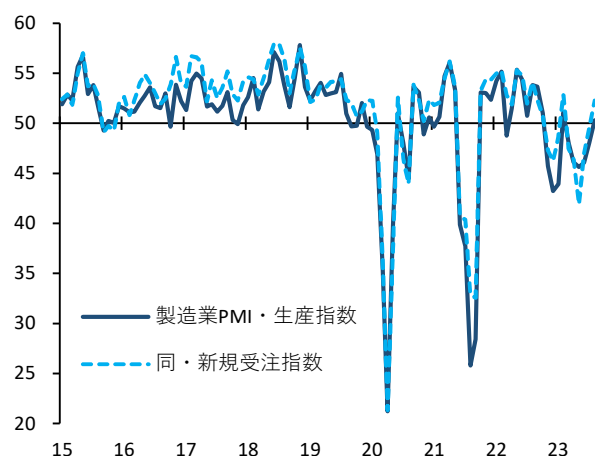
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 12: 台湾


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 13: フィリピン

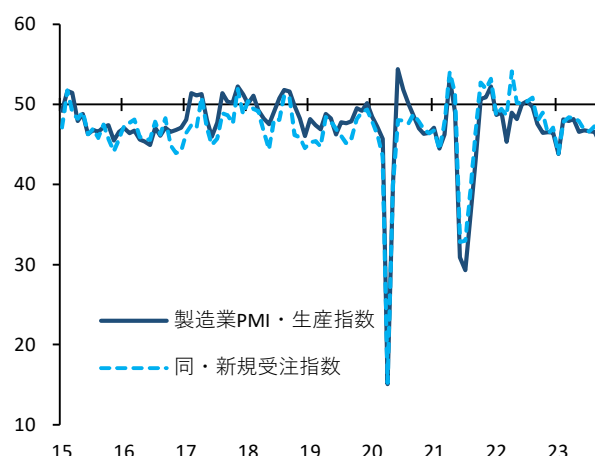

出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 14: ベトナム


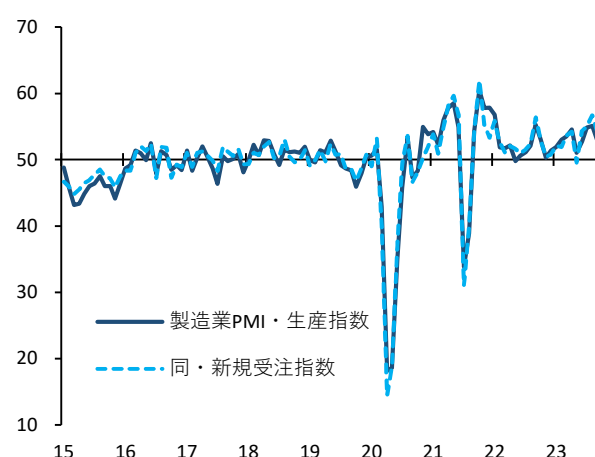
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 15: タイ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 16: マレーシア


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 17: インドネシア


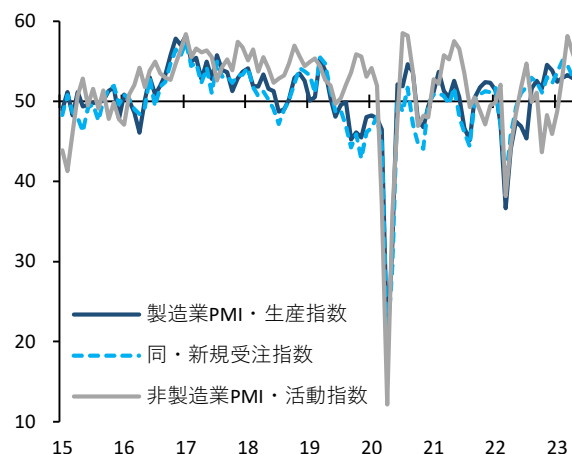
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 18: シンガポール

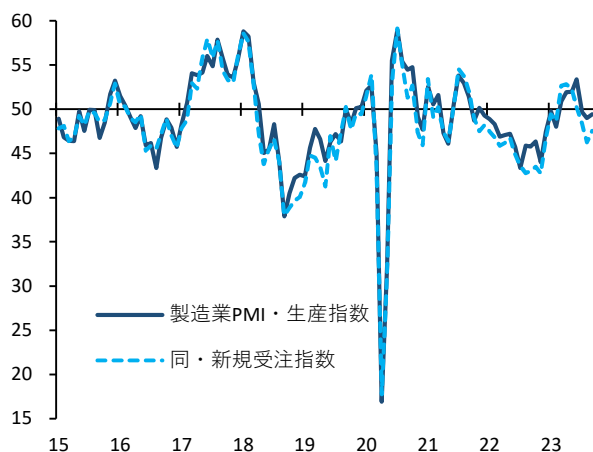

出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 19: インド


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 20: ロシア


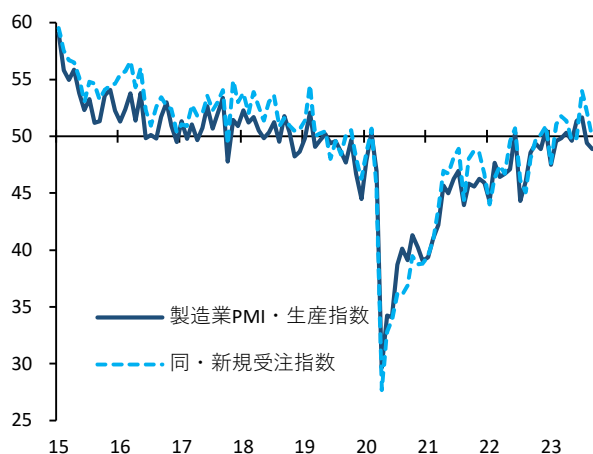
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 21: トルコ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 22: 南アフリカ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 23: メキシコ


出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 24: ブラジル


出所: S&P Global、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。